

# 新曽南コミュニティ施設設置

## 平成26年4月開館を目指して

# 平成25年度予算を可決

平成25年

# 3月 定例会

2月21日～  
3月21日



▲賛成多数で25年度国民健康保険特別会計予算を可決（右上は榎本議長）

主な議案

主な議案

3月定例会は、2月21日から3月21日までの29日間の会期で開かれました。本定例会には474億円に上る平成25年度一般会計予算など51件の市長提案が提出され、いずれも可決・同意しました。

また、3日間にわたる一般質問では、14人の議員が活発な論戦を展開しました。委員会提出議案では、政務調査費の交付に関する条例の一部改正など3件、議員提出議案では意見書1件が提案され、いずれも全会一致で可決しました（p3参照）。

請願では「国は埼玉県内の国公立大学に医学部の新設を認めてください」の意見書を国に提出を求める請願」について、継続審査といたしました。

### 主な議案の概要

#### 〔25年度予算〕

一般会計の歳入歳出を、それぞれ474億4千万円とするものです。

#### 文化会館 5階改修工事

5階部分について、結婚式関連事業から撤退し市の文化活動の拠点として整備する。工事費約1億1100万円。

#### Q 工事内容と利用開始

#### 新曽南コミュニティ施設設置事業

旧法務局戸田出張所跡地建物の1・2階部分を、コミュニティ施設として整備する。開館時期は来年5月ごろ。



▲移設予定のふれあい安全ステーション（上戸田ふれあい広場）

設として、平成26年4月開館を目指し整備を進める費用約3億5700万円。

#### 質 疑

**Q 具体的な内容は、**  
A 施設整備に当たり、幅広い多世代交流の機会とする施設を目指していることから、施設の機能や部屋の内容については、跡地建物周辺町会及び多世代にわたる団体並びに公募市民で構成した施設検討委員会を設置し、市民の意見をくみ取りながら決めた。1階に防音設備を施した多目的室及び音楽練習室と市民ギャラリー。2階には可動式間仕切りを設置した大会議室と図書コーナー、談話コーナー、和室、プレイルームと併設の赤ちゃんの駅等。

#### ふれあい安全ステーション設置事業

ふれあい安全ステーションが設置されている上戸田ふれあい広場については、上戸田福祉センターの再整備予定地とされていることから、当該安全ステーションを旧下戸田交番の跡地へ移設する費用約1700万円。

#### 質 疑

**Q 移設時期と現在のステーションとの変更点は、**  
A 移設時期は平成25年12月ごろ。防犯対策などの相談がしやすいローカウターの設置や、犯罪情勢の情報交換の場となる打ち合わせスペースの設置など、施設の大規模な改修とともに、車いす対応の多目的トイレの設置など、バリアフリー化

を行う。敷地面積約270平方メートル、建築面積約90平方メートルのプレハブづくり平屋建て。

#### マルチペイメント・ネットワーク 取納業務

銀行のATMやインターネットバンキングから税の納入を可能にするマルチペイメント・ネットワーク（ペイジ）、及びクレジット取納を導入するための費用約2900万円。

#### 質 疑

**Q 導入メリットは、**  
A 納付手段の多様化による納税者（市民）の利便性の向上が最大のメリット。納税者が金融機関やコンビニに外向かずに自宅で納付できる。平成26年度から導入。

#### 家具転倒防止器具 給付設置事業

災害時要援護者である75歳以上の高齢者のみの世帯、要介護認定4・5の者が属する世帯、重度障害者が属する世帯を対象として、家具転倒防止器具の給付設置を行い、災害時要援護者の災害予防、減災対策を図るための費用約260万円。

#### 質 疑

**Q 内容は、**  
A 家具の下に安定板を敷き、家具を少し後ろに傾斜させ、家具の上端部が壁にもたれるように設置する。メーカーの耐震性能試験によると、震度7でも食器棚の転倒を防ぐ結果が出ている。事業の周知は、広報戸田市4月15日号に掲載。